



北海道中央葡萄酒・千歳ワイナリー



千歳ワイナリーは1988年、山梨県勝沼町(現・甲州市)にある中央葡萄酒株式会社の第2支店「グレイスワイン千歳ワイナリー」として北海道千歳市に創業。世界水準の国産・自社製ピノノワールの醸造を目指し、北の銘醸地に拠点を設けました。

2011年にグレイスワインから分社独立し、北海道中央葡萄酒株式会社 千歳ワイナリーとなり、北海道産に特化したワインの品質向上に取り組んでいます。

千歳産ハスカップを使った醸造酒や、余市町登地区「木村農園」で栽培されるブドウ「ピノノワール」「ケルナー」の2種を原料に「北ワイン」を製造。バランスのよい味わいの「北ワイン ピノノワール」、2012年産のブドウからはセニエ法で造った限定のピノノワールロゼの販売を始めました。ケルナーはアロマと複雑性を重視した辛口の白と、冷涼な北海道の風土を反映した酸を生かし選組みで甘さを残したレイトハーベストの2種を展開しています。

商品の購入は北海道中央葡萄酒・千歳ワイナリー、または同社のホームページから可能です。

千歳市高台1丁目7番地 TEL 0123-27-2460

〈営業時間〉9時～17時 〈定休日〉4月～10月:無休 11月～3月:年末年始、土日祝

PRESENT

読者プレゼント



応募締切 **9月10日(水)必着**

※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます

1名様

「日本ワインコンクール」受賞ワイン4本入り1セットを1名様にプレゼント

1ページの記事で紹介した日本最大級のワイン品評会「日本ワインコンクール」で、北海道中央葡萄酒株式会社 千歳ワイナリーが製造し、極甘口部門で金賞かつ部門最高賞を受賞した「北ワイン ケルナーレイトハーベスト2023」をはじめ、「スパークリング」部門で銀賞の「北ワイン ケルナースパークリング」、「欧州系品種白」部門で銀賞の「北ワイン ケルナー2024」、「ロゼ」部門で銀賞の「北ワイン ピノワールロゼ2024」を各1本をセットでプレゼント。

提供／北海道中央葡萄酒・千歳ワイナリー



※ご応募は20歳以上とさせていただきます。 ※ご応募にあたりご提供いただいた個人情報につきましては、プレゼント発送のために使用します。 抽選・当選者決定・商品発送後は当社の責任において情報を適切に破棄・消去いたします。

応募方法

宛先

①郵便番号・住所 ②氏名(フリガナ) ③性別 ④年齢 ⑤職業 ⑥電話番号 ⑦今週のちゃんとで面白かったコーナー ⑧面白くなかったと感じたコーナー(理由を含めて) ⑨ワインに合うおつまみと云えば **以上すべてをご記入の上**、「千歳ワイナリー 受賞ワイン4本セット」と明記し、WEB応募フォームまたはハガキ・FAX・Eメールでお送りください。

①～⑨に未記入がある場合、抽選から外れることがあります。

【住所】〒066-0073 千歳市北斗4丁目13番20号
(株)メディアコム「ちゃんと」編集部
【FAX】0123-27-4911 【Eメール】present@chanto.biz

WEB応募フォーム



まちかどトピックス

まつり収益を地域へ還元 恵庭まちづくり協同組合



恵庭市の除排雪、公園・緑地施設、道路、市営住宅の維持管理など、市民生活に欠かせない事業を担う「恵庭まちづくり共同組合」(齊藤一史理事長)は8月22日、恵庭市社会福祉協議会(船田清会長)を訪れ、8月2日に開催された「第13回恵庭三四会まつり」に出店した際の収益5万4555円を「愛情銀行」に寄付。今回を含めた寄付累計額は29万2470円となりました。

「愛情銀行」は市民から寄せられた寄付金や物品を預かり、必要としている市内の福祉施設などに配分し、ボランティア活動の拡充に役立てる仕組みです。

同組合はまちづくりに関する事業活動を展開しているほか、地域イベントへの参加や地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。三四会まつりには2017年から参加し、今年で6回目の出展を実施。職員らがソフトドリンクやビールなどを提供しました。

杉町博孝事務局長は「愛情銀行の活動に協力できればという思いで寄付を続けています。収益を社会福祉などにぜひ役立てていただきたい」と話しました。

船田会長は「寄付金が減少し、ボランティア活動の資金が不足している中で、毎年ご寄付をいただけるのは本当にありがたいです」と謝辞を述べました。

あずま書道教室 作品展



日時

9月9日(火)～20日(土)
12:00～15:00

会場

むつみ屋商店
千歳市清水町4丁目19-2
(花千 今村花店さん前)

無入料場

主宰/お問合せ先 梢苑 東 貞子 TEL:0123-23-5010

生活が楽しくなる DIY+

ディーアイワイ プラス





▼蹄鉄の素材は一般的に鉄ですが、日本の競走馬には軽量で加工しやすいアルミニウム合金が用いられています。



■レーザー加工機で作る『3馬力』の世界

自分の生まれた地域が北海道で有数の「馬産地」だったので、街中でも「蹄鉄(ていてつ)屋」を営む家がありました。馬の蹄鉄を作り、蹄(ひずめ)の手入れをして馬の足の健康管理をする巧みな仕事です。それを間近に見て育ったので『馬』には親近感をいただいていた。当時はまだ『馬力』がある重種馬が農耕に使われていましたが、トラクターの普及でその姿を見ることもなくなりました。現代では、スマートで足が早い競走馬として3馬力の軽種馬が主流になっています。しかし『馬力』という表現が今でも広く使われているのはうれしい限りです。ちなみに軽トラは50馬力程度です。かの『鉄腕アトム』はなんと100万馬力だったのです。原子力とはいえ天馬博士はスゴイ!

【使った材料】ヒノキ板材&MDFオーク材、透明プラカバー、レーザー加工機(3.5w)、MacBook、Macmini、イラストフリー素材、ほか **+馬への親近感**

【ポイント】①イラストは完成度が高い『イラストAC(シルエット)』から最もイメージに合ったモノをセレクト。②躍動感とインパクトのあるデザインを2～3パターン考える。③本番前にベースの材質とレーザー加工機の相性を試す。※材質によりレーザー光線の照射時間が異なります。

【馬力がある人類の頼れる友】人類は『馬』を制御するのに手綱(たづな)、くつわ、むちなどを使ってきました。この穏やかでなじみ深い草食動物は古来から人間と密接な関係を保っています。聖書にも馬の持つ主要な特徴が描写されています。しかし、当時馬が戦闘部隊の戦力を高める上で非常に強力な役割を果たしたため、多くの国が軍事力を馬に依存していたのは歴史的事実です。そんな中で力強くも信仰深い国の王は、自国の戦力を抑制(軍縮)するために、必要以外の兵車(戦車)馬のひざ腱を切るように命じたほどです。馬にとってはいい迷惑です。馬は基本的に穏やかで優しい草食動物なのですから…

■DIYコラム／川筋善夫

【好きなこと】生活が楽しくなるDIY研究、聖書研究、生活デザイン、和食料理、保護猫の世話、野鳥観察、薪割り、菜園の手入れ、など

【注意とお願い】DIY研究は、販売目的で行っておりません。カスタマイズなどはあくまでアマチュアの領域内での造作です。

※このコラムに関心のある方は▶



